

白門みえ

大正時代の母校

中央大学 中央大学 中央大学 中央大学 中央大学 中央大学 中央大学 中央大学 中央大学 中央大学

http://www.hakumon-mie.jp

創立百二十五周年を迎えて

昭和三六年法卒 支部長 小川 益司

私どもの母校中央大学は明治一八年英吉利法律学校として創設され、今年で一五周年を迎えます。その建学の精神を調べてみると「実地応用の素を養つ」と記してあります。私の在学中は質実剛健を標榜していたが、この校風は今なお受け継がれているのでしようか。

一五周年記念の募金については経済情勢厳しいなか三重支部学員の皆さんからの募金一、〇六〇、〇〇〇円を大学に寄付しました。今年も若干寄付します。誠にありがとうございました。今年の四月名古屋で大学主催の東海支部の懇談会がありました。久野理事長ら大学、学員会幹部らと愛知、静岡、岐阜、三重、名古屋等七支部の支部長幹事長が出席した。大学からは総合大学としてさらに発展させるための基本方針。新宿区市谷町に新キャンパス「ミドルブリッジ」を開設し就職支援対策を強化する。中高一貫教育を実施するための附属中学校を小金井市に開校して大きな話題になっていること等の説明があり、学員からの募金に対して謝意があった。現在募金一〇〇億円の目標額に対して五九億円の募金があるとのこと。

七月には四日市で本大学と父母連絡会との就職懇談会も開かれた。大学から河野光雄総合政策部長らが来られ、大学の概況を説明され、きめ細やかな就職支援体制をしている印象を受けた。最近是新司法試験、公認会計士や公務員試験でも合格者は増加しています。二〇一〇年度の入試志願者数も過去最高です。またあらゆる面で外部からの評価も高くなっているとのこと。

ました。至らぬ幹事長でしたが皆様の温かいご支援・ご協力のおかげで無事役目を果たすことが出来ました。心から深く感謝申し上げます。

昭和六十年頃はバブル前夜にあたり日本経済も大変活況で不動産・株式も連日のように値上りし、ジャパン・アズ・ナン・パーワンと浮かれていた、今から思えば夢のような時代でした。しかし、平成元年をピークに、今よく言われる失われた二十年の始まりになるうとは、誰も想像さえしなかった事だと思えます。その間には急激な構造改革や規制緩和により日本の伝統的な互助精神による経済運営が立ち行かなくなり、一億総中流社会と言われたのは昔のことで格差社会が益々広がることになりました。また日本人の美徳とされた倫理・道徳感も失われたような気がしてなりません。さらに日本社会の閉塞感を強くしているのは少子高齢化に加え、人口減少問題であり、国内需要の縮小に繋がることが強く懸念されており。

かようにこの二十年、社会が大きく変わりましたが、変化の激しい時ほどビジネスチャンスも多く生まれると申します。会社を次の世代に繋げていくためにももう少しの間、頑張っていきたいと考えております。また、人々との絆も大切なことです。近年、序々に総会出席者も増えてきました。学員間の絆を深めて益々盛会となりますよう大いに期待いたしております。

四半世紀を振り返って

昭和四二年商卒 赤塚 高之

今回、小川支部長の意向により一年振りに「白門みえ」が発刊される運びとなり、あなたも「迷文？」を寄稿するようにとの命を受けました。故速水支部長の頃には教職員の学員が多勢御お見えになり、「白門みえ」の編集は教員の松井秀行氏にお願いしておりました。再び、三重支部の活動や大学の動向を伝えて頂けることは大変喜ばしいことだと思えます。

私は昭和六十年だと記憶しておりませんが当時、幹事長だった森伸生氏より我が社がレストラン・貸会議室を営んでいたところから、あなたの所で総会も開催できるし、ついでに幹事長も引き受けて頂きたいとの申し出がありました。若輩者でその任にあらずとお断りしておりましたが、うまく乗せられて幹事長をお引受けすることになりました。あれから二十四年、平成二十年度総会における役員改選で現幹事長小林薫氏にバトンタッチすることができ

三重県の訴訟を一手に引き受けてみえました。三重県在職中の昭和五七年一月司法試験に合格し、昭和六〇年四月三重弁護士会に登録しました(三七期)。現在、総勢一名の弁護士を率いる法律事務所代表となれたのは、諸先輩のご指導によるものと感謝しております(三名は出向中)。

最近の法曹事情

昭和五二年法卒 弁護士 楠井 嘉行

一 はじめに
私は、山口和夫三重県生活部長、細野浩三重県防災危機管理副部長、宮武貴久画伯は同期です。
国家公務員上級職試験にも合格しましたが、祖父の強い勧めもあり、大学院修士課程を終了後、三重県に奉職しました。

二 法科大学院の事情
中央大学は、伝統的に司法試験の合格者が多く、法曹界に多くの人材を送り込んできました。現在の司法試験制度では、四年制大学を卒業後、法科大学院を卒業しないと司法試験が受験できなくなりました。一回の合格者数も二〇〇〇名を超え、五〇〇名以下であった私の受験時代とは全く様子が違っています。大変やさしい試験になりました。

私は、現在中京大学法科大学院で行政法を教えています(公法総合演習担当)、予想どおり学生の著しい学力低下は否めません。学生には、「少年野球の選手がプロ野球選手に成長するまでには大変な苦勞がいりますよ。お金と労力が大変です。」とはつばをにかけています。新人弁護士の中には、旧帝大系大学出身者でありながら満足に「足し算」ができず、裁判官に叱られる私が謝罪に向いた者がいます。また、約束の時間に現れないので本人に連絡した所、朝「ごみ出し」をしていたので遅れたと弁解した新人もいます。待っていたお客様が激怒したことは言うまでもありません。

三 新人研修
そのような訳で私の法律事務所も毎年弁護士を採用していますが、新人弁護士は、金融機関や市町村へ企業内弁護士や任期付公務員に派遣して修業をさせています。社会経験や基礎的学力をつけてから、本格的に弁護士活動を始める新しい研修システムを取り入れていきます。弁護士会では、少数派ですが、数年前には主流になれると思っております。中央大学出身の優秀な新人弁護士が入所してくることを期待しています。

四 終わりに
弁護士登録をしてから二六年目になります。多くの先輩に様々なことを教えてもらいました。本年三月、自治

自分に合った生き方

昭和三九年法卒 下津 和文

昨秋、三重県の産業功労者表彰をほからずも受賞しましたが、その事について寄稿のご要請をいただきました。また、平成十五年には黄綬褒章受章と身に余る評価をしていただき恐縮しているところです。

この二つの受章の原点は、家業である醤油業界で、三重県醤油組合の理事長を長年勤め、組合事業を通じて多方面にわたり活動の場が与えられたことと、それを支えていただいた関係者のご指導とご支援の賜と認識しています。実は大学卒業後約十年間某石油会社に勤務し、その後家業を継いだのですが、帰って一年ほどで先代が他界したため、若いころから組合事業にも携わったことが、このような結果に結びついているものと思っております。

組合の理事長就任は平成元年ですが、丁度バブル景気が終わった頃で経済の転換期でありました。我々の組合も本業の他に養鶏業であるとか、更には南米のコロンビアでのカーネーションの生産等幅広く展開しておりました。しかしながら、その後バブル経済は崩壊していくこととなり、組合の関連事業でも大きな痛手を受けました。そこで事業を幅広く展開するより、本業中心に戻り、健全でクリーンな経営を目指そうと考へ、方向転換をはかりました。幸いこの業界に入って日も浅く、古くからのしがらみも無かったので、果敢に経営の建て直しに邁進することが出来ました。こういった幸運にも恵まれ、その後の組合運営も健全経営により、余裕を持って業界の発展に寄与できたと思っております。

大学時代にある教授が、「一生で一度ホームランを打て」と言われた事が印象に残っています。果たして自分は今までにホームランを打ったのかと自問するときに、決して誇らしげに打ったとは言えません。かつてイチローが、「自

大学の思い出

昭和四六年法卒 宮武 新次郎

大学の思い出の最たるものの一つは、学生運動による大学の閉鎖の間のフリータイム。アルバイトや映画の日々のことだ。

一年ほど全く授業のないままで結局卒業には五年かかった。最初のアルバイトは、まだ何も無い大学一年の時、ここで初めてビールの味を覚えた。飲食業だったので、客に出した下がりなど勝手に飲んでいて、ある日の抜き打ち検査でほとんどの人は赤く顔に出してしまい即クビになってしまったが、私は酒との相性の良さに驚いたが、辞めるまでほどほどにやっていたことができた。本格的なバイトは、大学の閉鎖の時、アートコピーの豆とパン売りをした。昼まで主に仕入れの確認と販売準備などが私の担当だった。前日のパンなど余った時などよく東京都体育館のプールの監視員に持って行った。そのリーダーが大学の先輩というところもあり、いつもフリーパスで行っていた。プールは一年中やっていて、そこで私は初めて泳ぎも学んだ。また、夏休みには都営プールの監視を紹介してくれ、これが二つ目のアルバイトとなった。後に分かったが、リーダーや体育会系の長く来ている人は有名なホテルを担当し、都営プールなどは私たちが充てていたわけだが、私には結構

